

本院に胸痛のため救急車で緊急入院した患者さん・ご家族の皆様へ

～2023年11月から2025年3月までに胸痛で緊急入院した患者さんの臨床情報の医学研究への使用のお願い～

【研究の目的について】

奈良県では、2010年より、救急搬送時にe-MATCHシステムを開発し、症状ごとに適切な施設への搬送システムを実施していますが、胸痛を有する患者さんについては、胸痛搬送ルールを整備し、急性冠症候群や大動脈緊急症を救急隊員が疑えば、24時間365日冠動脈カテーテル治療の実施可能な県内10施設へ搬送する仕組みを確立しています。その中でも重篤な疾患である大動脈緊急症（急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、大動脈外傷など）は、時間経過とともに救命率が低下する予後不良の救急疾患であり、かつ、治療可能な病院が限られているため、救急医療体制が救命率向上に重要なウエイトを占めます。大動脈緊急症の発生現場において、①救急隊による適切な状況把握、②把握した情報に基づく適切な搬送先病院の選定、③搬送先病院との情報連携の3つが初期対応で重要です。

このe-MATCHシステムに各患者さんに対する救急隊からのアンケート機能が追加され、後方視的ではありますが搬送情報をより詳しく収集することが可能になりました。そこで、胸痛搬送ルールで搬送した患者さんを対象に、各々のバイタルサインや症状を、救急隊員からアンケート機能を使用して収集し、搬送先の病院で大動脈緊急症と診断された患者さんの、バイタルサインや症状との関係を調べることによって、大動脈緊急症を事前に診断するアルゴリズムを作成することを目的としています。

【使用させていただく情報について】

本院におきまして、2023年11月から2025年3月の期間に胸痛により緊急搬送された患者さんの臨床情報を医学研究へ応用させていただきたいと思っております。そのため、患者さんの診療記録（カルテなど）を調べさせていただきます。なお患者さんの診療記録（カルテ）を使用させていただきますことは、本院倫理委員会において厳正に審査され承認されており、患者さんの診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく情報の保存等について】

本研究で得た臨床情報の保存は論文発表後10年間を基本としており、保存期間終了後は、臨床情報を完全に削除します。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合は10年間を超えて保存させていただきます。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が大動脈緊急症のトリアージアプリの開発に寄与する可能性があります。万が一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究は研究資金を必要としませんが、費用が発生した場合も対象となった患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ臨床情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に臨床情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの臨床情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの臨床情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出下さい。

【研究責任者及び情報管理責任者】

研究機関：公益財団法人 天理よろづ相談所病院

情報管理責任者：救急診療部 近藤 博和

電話番号：0743-63-5611